

平成 28 年度第 1 回

北栄町国民健康保険運営協議会会議録

日 時 平成 28 年 7 月 21 日 (木) 午後 7 時 30 分～午後 9 時 5 分
場 所 大栄農村環境改善センター 1 階 第 1 会議室
会議に招集された者 北栄町国民健康保険運営協議会委員
出席者 井中信一 (会長)、永田洋子 (職務代理)、山根收、淀瀬千賀子、
岡本恒之、石川悦子 (欠席委員 無)
説明のための出席者 健康推進課長 吉田千代美
健康推進課国保医療室長 中口一彦
会議に付した事項 別紙資料のとおり
議長 井中信一 (会長)

会 議 の 要 旨

開 会	午後 7 時 30 分
会長あいさつ	町の事務局も代わり、今日が初顔合わせとなります。本日の報告・議題事項は、「平成27年度北栄町国民健康保険事業特別会計決算について」、「平成28年度北栄町国民健康保険事業計画(案)について」、「平成30年度からの国保制度改革について」となっていますので、よろしく願います。
自己紹介	委員、町事務局職員が、各自自己紹介
会議録署名人 の選出	淀瀬千賀子委員さんと石川悦子委員さんで願います。 (事務局提案により、委員了承)
会長	4 の報告・協議事項に入ります。(1) 平成 27 年度北栄町国民健康保険特別会計決算について、説明を願います。
事務局	資料に基づき説明 資料 P 3～P 6、資料 1、資料 2 当初の見込みでは、1 億数百万円程度の不足でしたが、結果的には、赤字繰り入れ無しで、17,734 千円の繰り越しとなりました。
会長	療養給付費交付金の予算について、12 月に 4 千 1 百万円減額補正していますが、結果として見込み違いだったと言うことですね。
事務局	そういうこととなります。療養給付費交付金については、年に数回変更が

かかりますが、予算と決算が大きく違ったのは見込み誤りによるものですが、見込みづらいついともあり、このような結果となりました。今まで、毎年、赤字だったものが、なぜ、今年、黒字だったのかについて、資料1で説明させていただいています。資料2の一般会計繰入金の「基盤安定」についてですが、平成27年度は税の軽減範囲が広がり、国保の抜本的な財政基盤の強化が拡充されたことで、額が大きくあがることとなりました。公費が以前に比べて多く入っていることもこのような結果となった要因の一つとなっています。

委員

平成28年度以降は、少しは、余裕ができるということですね。

事務局

ただ、医療費も上がっていることもあり、資料1のとおり、平成28年度決算見込みでは、税も上げさせていただき、一般会計赤字繰り入れを予算どおり(47,730千円)としても、418千円の不足となっています。今までよりは、公費が拡充されていますが、やはり、不足するという見込みです。ただ、不確定要素も多く、現段階でのあくまで見込みですが。

委員

歳入も増えていますが、資料P4で、平成27年度の拠出金・納付金が844,232千円と大きく増えているなど、歳出も増えていますが、何故でしょうか。

事務局

小さい保険者では、高額な医療費が出てくると、財政が持ちこたえられないので、県内全部の市町村で「共同事業」を行っていて、お互いにカバーしあっています。これが、平成26年度までは80万円以上の医療費と30万円以上の医療費が対象であったものが、平成27年度からは、80万円以上はそのままで、今までの30万円以上対象のものが、1円からとなりました。結果として、「共同事業」では、「交付金」(歳入)も増えましたが、「拠出金」(歳出)も増えることとなりました。また、歳入では、前期高齢者交付金についても増えています。

会長

国保が赤字で大変だという話がありますよね。平成27年度の「一般会計繰入金」は「法定内繰り入れ」を入れられるだけ入れていると思いますが、(結果として、赤字繰り入れ無しで、歳入-歳出が)プラスになっています。これは、「赤字ではない。」と表現するのですか。

事務局

そうです。

会長

平成27年度は、赤字ではなくなったということですが、「赤字だから保険税率を上げていきましょう」という話であったと思いますが、このへんは(議会等で)問題にならなかったのですか。黒字になったのなら、もう2年ほど、

(税率を上げずに) がんばってみなさいとか、議会等からそういう声は出なかったのですか。

事務局

議会への説明はこれからとなります。本来、決算議会は9月ですが、今回の結果をふまえて、この運営協議会が終わってから、全員協議会で説明させていただきます。

委員

(議会でも、税率改正についての) 今の話は出てくるでしょうね。前回(の運営協議会では) 1億円高くなる(不足する)が、1億円分全額、税を上げるわけにはならないから、折半で3千万円程度分の税上げをいう話で、「(税上げは) やむなし」と了解しましたが、今の話で、1千7百万円の繰越金が出るようなら、(税上げが) もう少し低い率で良かったのではということになる。

会長

本当に、その時(税上げ検討時)、こういう結果がわかっていたら、運営協議会の結論も変わってきている。

委員

だけど、元々の赤字が大きいから、(平成27年度に) 1千7百万円くらいの繰り越しがあっても(誤差ということで) 飲み込まれる範囲かもしれませんけど。

会長

ただ、変な話になってしまうのだけど。平成27年度に税上げしていれば(問題無かったのかもしれないが)。何年かぶりに黒字になって、税を上げますよと言うのは、説得力が(無い)。

事務局

税上げについては、3月議会で決まっています、既に賦課も始まっています。

会長

けれど、その時(税上げ協議時)は、赤字の繰り入れが無いという情報ではないでしょ。なら、(税上げが) 仕方がないと言っていて、実は言ったら。

委員

税上げは、3月に決めた話ですし。

会長

他に決算についてありませんか。

委員

資料P3の療養給付費の額(1,184,729千円)と、資料P5の医療費(1,177,561千円)の額が違いますが、何故ですか。

事務局

資料P3の保険給付費の額は、医療機関に直接払う額と被保険者の請求により支払う額等の合計額となっていますが、資料P5の医療費は、その内数で、医療機関に直接支払う額のみとなっています。

会長 決算については、疑問のある方は、別途聞いていただくと言うことで、この場はこれで終わります。

(2) 平成28年度北栄町国民健康保険事業計画(案)について、説明願います。

事務局 資料に基づき説明 資料P7～P12

委員 1月(の運営協議会)での暫定予算と当初予算が少しずつ、違ってきているが。

事務局 実態に応じて少しずつ直しており、(今回、資料1で)平成28年度の決算見込みを出したのは、税を上げてどうだったのかを見るために、この段階ではありますが、見込みを出してみました。税上げは必要だったのかどうかを見たいためです。

会長 赤字繰り入れをしなくてはいけないから、やはり、(税を)上げなくてはいけなかったと。

委員 (税上げをしても)赤字は、赤字だからね。前の時も、1億円5百万のうちの3千万円を補填しましょうと。どっちになっても赤字は、赤字なんだが。

委員 資料P10の(3)資格喪失後受診への対応で、「資格喪失後の保険証の回収、また、国保資格喪失後受診者に対する保険給付費の返還請求について、平成28年度も同様に、適正に対応します。」となっているが「適正とは」どういうことか。

事務局 保険給付費の返還については、平成27年1月から保険者間で調整が可能となっており、事務処理を円滑に進めていくと言うことです。

会長 他にありませんか。(平成27年度決算についての話に戻るが)28年度は、(税上げは決まっているので)淡々と実績がいくらになるか、追っかけていっただけ、見込みを精度良く、追っかけていくということだね。

それでは、(3)平成30年度からの国保制度改革について、説明をお願いします。

事務局 資料に基づき説明 資料P13

会長 県が標準保険料率を提示することとなっていますが、それに対して、町は独自の料率を設定できるのですか。

事務局

はい。ただ、納付すべき額は決まるので、それをどう判断して、料率を設定するかということはありません。

委員

いろいろ、ばらつきのある市町村に対して、県が標準料率を定めると言っても、結局、今のものがベースになるんですよね。今のものを無視してできるわけ無いでしょ。

事務局

平成30年度改革については、5月に第1回目の県・市町村連携会議が開かれ、概略的な説明がなされ、具体的な協議は、各部会を設けてその中で行うこととしています。

会長

他にありませんか。

事務局

資料1にあげさせていただいている平成28年度の今後のことについて、お話しさせていただいても良いでしょうか。税上げにより、今年度、約3千万円、税が上がりました。税上げ分を見込んでも、現時点で、今年度、赤字繰り入れが約5千万円程度必要だと見込んでいます。不確定な要素が多いので、正確な推計は難しいのですが、この要因は、このところ、調剤（費用）が伸びていて、C型肝炎の新薬の影響があります。この薬は高額で、一人当たりの調剤費も高額となります。平成28年度についても、このあたりが一人当たりの医療費を押し上げるのではないかと見込んでいます。逆に歳入では、今年度から、保険者が努力したものについて、見合った分を交付金措置することとなっていますが、その算定がどのくらいになるのか現段階では示されていません。また、県下で取り組む共同事業については、北栄町の医療費だけでなく、全県下の医療費がどうなるかにも大きく左右されるので、見込めないところがたくさんあります。このような状況をふまえて、今後の対応ですが、2月前半くらいまで決算を見込んでいって、平成29年度の税率をどうするのか、下げるのか、据え置くのかといった協議を今後させていただきたいと思っています。赤字になる場合は、税率も上げているので、一般会計から繰り入れて対応したいと考えていますが、黒字になった場合はどうするのか、税率は今のままにして繰り越すのか、今、北栄町には基金がありませんが、基金に積んでいくのか、または来年度の税を下げるのか、そういった協議を今後、この場でさせていただきたいと考えています、そのために、いろいろな情報を早めにキャッチしながら、見込みを立てていきたいと思っています。平成27年度については、少しキャッチが遅かったこともあり、このような大きなズレがでてしまいましたので、早めに対応したいと思っています。また、その節はよろしく申し上げます。

会長

他にございませんか。

表彰報告

平成28年度鳥取県国保連合理事長表彰で、石川悦子委員が表彰されることを事務局が報告

会長

いろいろな意見を出していただき、ありがとうございました。これで閉会といたします。どうも、ご苦勞様でした。

閉会

午後9時5分